

水環境の状況について

横須賀市では、水質汚濁防止法第 15 条第 1 項に基づき、水質の汚濁の状況について、河川 3 地点及び海域 5 地点で年 12 回並びに地下水 8 地点で年 1 回調査を実施した。

1 公共用水域（河川・海域）の調査結果

○ 健康項目¹⁾

調査を行った 3 河川及び 5 海域すべてで環境基準²⁾を達成した。

○ 生活環境項目（BOD³⁾ 及び COD⁴⁾）

環境基準点となっている 3 河川、夏島沖、大津湾、浦賀港内及び久里浜湾内にて、環境基準を達成した。

○ 生活環境項目（全亜鉛、ノニルフェノール及び LAS⁵⁾）

環境基準点となっている 3 河川、夏島沖及び大津湾にて、環境基準を達成した（海域は本市調査地点のみでの評価）。

○ 生活環境項目（全窒素及び全磷）

環境基準点となっている夏島沖にて、環境基準を達成した。

(1) 河川の BOD 環境基準達成状況

単位：mg/L

水域名	調査地点	75% 水質値 ⁶⁾	年間平均 値	環境基準	達成状況	概 況
鷹取川	追浜橋	1.8	2.2	3 以下	達成	年間平均値は近年、横ばいで推移している。
平作川	夫婦橋	1.9	1.5	3 以下	達成	
松越川	竹川合流後	1.3	1.2	5 以下	達成	

注) BOD の環境基準達成状況は、75% 水質値で評価する。

(2) 河川的全亜鉛、ノニルフェノール及び LAS 環境基準達成状況

単位：mg/L

水域名	調査地点	全亜鉛			ノニルフェノール		
		年間 平均値	環境基準	達成状況	年間 平均値	環境基準	達成状況
鷹取川	追浜橋	0.008	0.03 以下	達成	不検出	0.002 以下	達成
平作川	夫婦橋	0.007	0.03 以下	達成	不検出	0.002 以下	達成
松越川	竹川合流後	0.012	0.03 以下	達成	不検出	0.002 以下	達成

水域名	調査地点	LAS			概 況
		年間 平均値	環境基準	達成状況	
鷹取川	追浜橋	0.0013	0.05 以下	達成	年間平均値は近年、横ばいで推移している。
平作川	夫婦橋	0.0006	0.05 以下	達成	
松越川	竹川合流後	0.0094	0.05 以下	達成	

注) 全亜鉛、ノニルフェノール及び LAS 環境基準達成状況は、年間平均値で評価する。

(3) 海域のCOD環境基準達成状況

単位：mg/L

水域名	調査地点	達成状況	75% 水質値	年間 平均値	環境基準	概 況
東京湾(8)	夏島沖	達成	2.3	2.1	8以下	年間平均値は近年、横ばいで推移している。
東京湾(13)	大津湾	達成	2.1	1.8	3以下	
東京湾(14)	浦賀港内	達成	1.8	1.5	3以下	
東京湾(15)	久里浜港内	達成	2.1	1.8	3以下	

注) CODの環境基準達成状況は、75%水質値で評価する。

(4) 海域の全窒素及び全リン環境基準達成状況

単位：mg/L

水域名	調査地点	達成状況	全窒素		全リン		概 況
			上層年間 平均値	環境 基準	上層年間 平均値	環境 基準	
東京湾(ハ)	夏島沖	達成	0.45	1以下	0.051	0.09以下	近年、横ばいで推移している。

注) 全窒素及び全リン環境基準達成状況は、上層年間平均値で評価する。

(5) 海域の全亜鉛、ノニルフェノール及びLAS環境基準達成状況

単位：mg/L

水域名	調査地点	全亜鉛			ノニルフェノール		
		年間 平均値	環境基準	達成状況	年間 平均値	環境基準	達成状況
東京湾(特別域を除く全域)	夏島沖	0.005	0.02以下	達成	不検出	0.001以下	達成
東京湾(二)	大津湾	0.006	0.01以下	達成	不検出	0.0007以下	達成

水域名	調査地点	LAS			概 況		
		年間 平均値	環境基準	達成状況	年間平均値は近年、横ばいで推移している。		
東京湾(特別域を除く全域)	夏島沖	不検出	0.01以下	達成			
東京湾(二)	大津湾	不検出	0.006以下	達成			

注) 全亜鉛、ノニルフェノール及びLAS環境基準達成状況は、年間平均値で評価する。

2 地下水の調査結果

概況調査(定点調査⁷⁾及びメッシュ調査⁸⁾)では、調査を行ったすべての地点で環境基準及び評価基準⁹⁾を達成した。

継続監視調査¹⁰⁾では、「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」の調査を行った4地点のうち、

3地点で環境基準を達成しなかったが、1地点で環境基準を達成し、すべての地点で評価基準を達成した。

(1) 概況調査結果

調査項目	基準超過地点数 / 全地点数	
	定点調査	メッシュ調査
環境基準項目 (28)	0 / 1	0 / 3
評価基準項目 (pH のみ)	0 / 1	0 / 3

(2) 継続監視調査結果

調査項目	基準超過地点数 / 全地点数
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	3 / 4
評価基準項目 (pH のみ)	0 / 4

— 今後の取組み —

- 河川・海域の水質の改善を図るため、水質汚濁防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき工場・事業場の規制、指導を行う。
- 地下水汚染の未然防止を図るため、水質汚濁防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき工場・事業場の規制、指導を行う。
- 環境基準（硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素）を達成しなかった井戸については、庭に水を撒く等の生活用水として使用する分には特に問題はないが、今後も継続監視調査を実施する。

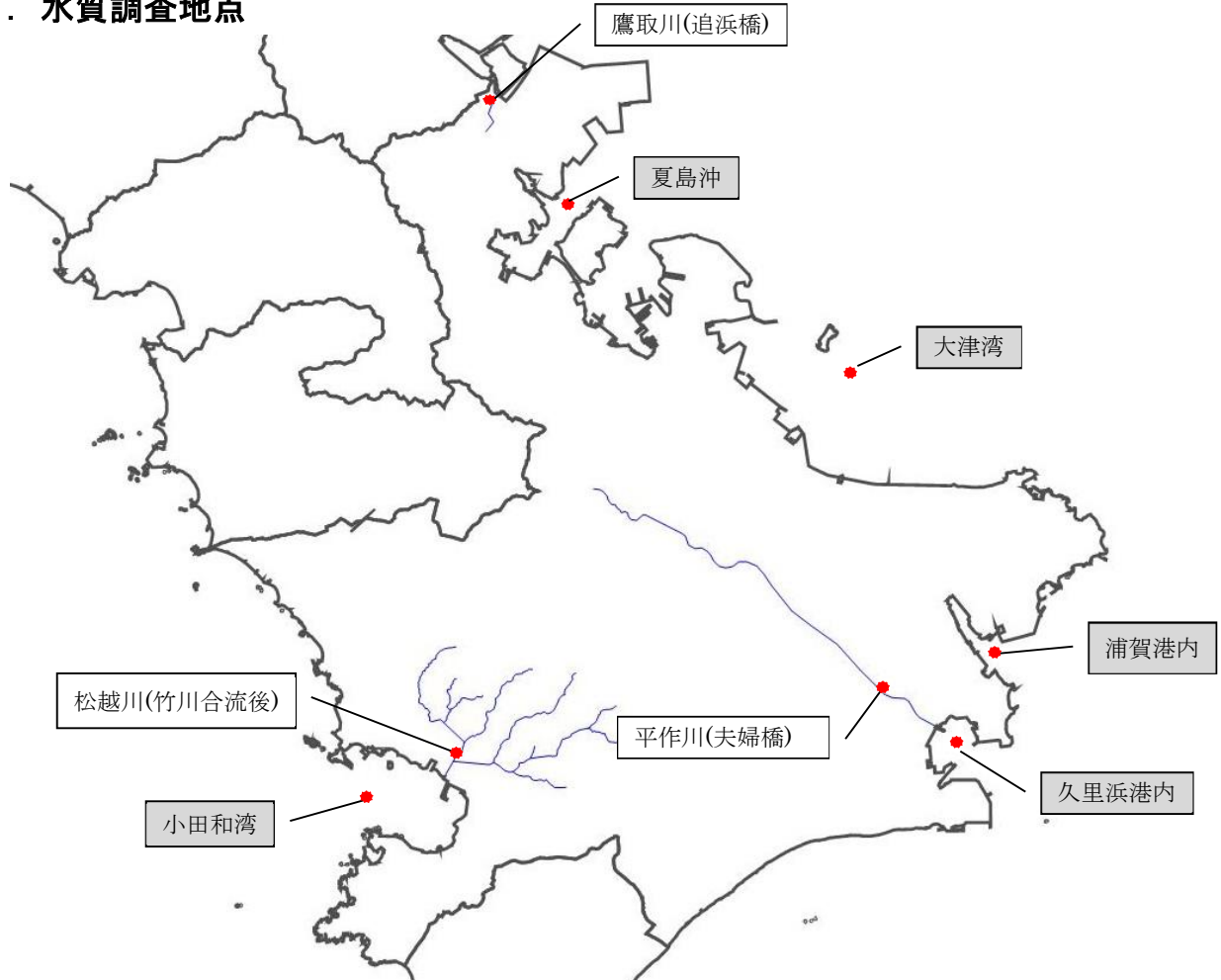
用語解説

- 1) 健康項目：人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準として環境基準が定められたカドミウムなどの 27 項目。
- 2) 環境基準：環境基本法第 16 条による水質汚濁に係る環境上の条件につき、人の健康を保護し又は生活環境保全するうえで維持することが望ましい基準。
- 3) BOD（生物化学的酸素要求量）：河川水などに含まれる有機物による汚濁の程度を示すもので、水の中の有機物が一定時間、一定温度のもとで微生物によって酸化分解されるときに消費される酸素の量をいい、値が高いほど有機物の量が多く、汚れが大きいことを示している。
- 4) COD（化学的酸素要求量）：海水などに含まれる有機物による汚濁の程度を示すもので、水の中の有機物を酸化剤で酸化するとき消費される酸化剤の量を酸素の量に換算したものをいい、値が高いほど有機物の量が多く、汚れが大きいことを示している。
- 5) 「直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩」の略称。
- 6) 75%水質値：年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べたときの $0.75 \times n$ 番目（ n は日間平均値のデータ数）のデータ値であり、「75%水質値」が類型の環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成していると評価する。
- 7) 定点調査：定点において水質の経年変化を把握するための調査。
- 8) メッシュ調査：市内の全体的な地下水の汚染状況を把握するための調査。
市内全域を 4 km メッシュに区切り、各メッシュに 1 つの井戸を選定して調査を行っている。
- 9) 評価基準：一般項目の pH については水道法第 4 条に基づく水質基準により 5.8 以上 8.6 以下の場合に評価基準を達成していると評価する。
- 10) 継続監視調査：前年度までの調査の結果、汚染が確認された地点において継続的な監視のための調査。

水環境の状況について（資料編）

I 公共用水域の常時監視調査結果

1. 水質調査地点



2. 調査項目と環境基準等

(1) 人の健康の保護に関する環境基準（健康項目）（河川・海域）

単位：mg/L

項 目	環 境 基 準	項 目	環 境 基 準	項 目	環 境 基 準
カドミウム	0.003 以下	四塩化炭素	0.002 以下	チウラム	0.006 以下
全シアン	検出されないこと。	1,2-ジクロロエタン	0.004 以下	シマジン	0.003 以下
鉛	0.01 以下	1,1-ジクロロエチレン	0.1 以下	チオベンカルブ	0.02 以下
六価クロム	0.02 以下	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 以下	ベンゼン	0.01 以下
砒素	0.01 以下	1,1,1-トリクロロエタン	1 以下	セレン	0.01 以下
総水銀	0.0005 以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 以下
アルキル水銀	検出されないこと。	トリクロロエチレン	0.01 以下	ふっ素	0.8 以下
PCB	検出されないこと。	テトラクロロエチレン	0.01 以下	ほう素	1 以下
ジクロロメタン	0.02 以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 以下	1,4-ジオキサン	0.05 以下

備考

1. 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については最高値とする。

- 「検出されないこと。」とは、規定の測定方法により測定した結果が、定量限界を下回ることをいう。
- 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。
- アルキル水銀は総水銀が検出された時のみ測定する。
- 測定値が定量下限値未満であった検体については、定量下限値を用いて平均値を算出する。
- 全シアンは同一測定点における年間の総検体の測定値の最高値により環境基準の達成状況を評価する。
- アルキル水銀及びPCBについては年間のすべての検体の測定値が不検出であることをもって環境基準達成と評価する。
- 全シアン、アルキル水銀及びPCB以外の項目は年間の総検体の測定値の平均値により環境基準の達成状況を評価する。

(2) 生活環境の保全に関する環境基準（河川）（抜粋）

ア

項目 類型	水素イオン 濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	該当水域 [環境基準点]
B	6.5 以上 8.5 以下	3 mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL 以下	鷹取川 [追浜橋] 平作川 [夫婦橋]
C	6.5 以上 8.5 以下	5 mg/L 以下	50mg/L 以下	5 mg/L 以上	—	松越川 [竹川合流後]

備考

- pH、SS、DOは日間平均値により評価する。
- BODは75%水質値（年間の日間平均値の全データを、その値の小さいものから順に並べた際の $0.75 \times n$ 番目（ n は日間平均値のデータ数）のデータ値（ $0.75 \times n$ が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。)) により評価する。
- 大腸菌数に係る基準値については、90%水質値（年間の日間平均値の全データを、その値の小さいものから順に並べた際の $0.9 \times n$ 番目（ n は日間平均値のデータ数）のデータ値（ $0.9 \times n$ が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。)) とする。
- 大腸菌数に用いる単位はCFU（コロニー形成単位 (Colony Forming Unit) /100mL とし、大腸菌を培地で培養し、発育したコロニー数を数えることで算出する。
- 鷹取川と平作川はB類型に指定されているが、大腸菌数については、追浜橋と夫婦橋は環境基準点とはなっていない。

イ

単位: mg/L

項目 類型	全亜鉛	ノニル フェノール	LAS (直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩)	該当水域 [環境基準点]
生物B	0.03 以下	0.002 以下	0.05 以下	鷹取川 [追浜橋] 平作川 [夫婦橋] 松越川 [竹川合流後]

備考

- 基準値は、年間平均値とする。
- 年間平均値により環境基準の達成状況を評価する。

(3) 生活環境の保全に関する環境基準（海域）

ア

項目 類型	水素イオン 濃度 (pH)	化学的酸素 要求量 (COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	n-ヘキサン 抽出物質 (油分等)	該当水域 [環境基準点]
A	7.8 以上 8.3 以下	2 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL 以下	検出されな いこと。	相模湾 (2) [本市なし]
B	7.8 以上 8.3 以下	3 mg/L 以下	5 mg/L 以上	—	検出されな いこと。	東京湾 (13) [大津湾] 東京湾 (14) [浦賀港内] 東京湾 (15) [久里浜港内]
C	7.0 以上 8.3 以下	8 mg/L 以下	2 mg/L 以上	—	—	東京湾 (8) [夏島沖]

備考

1. 「検出されないこと。」とは、規定の測定方法により測定した結果が、定量限界を下回ることをいう。
2. pH、SS、DOは日間平均値により評価する。
3. CODは75%水質値（年間の日間平均値の全データを、その値の小さいものから順に並べた際の $0.75 \times n$ 番目（ n は日間平均値のデータ数）のデータ値（ $0.75 \times n$ が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。))により評価する。
4. 大腸菌数に係る基準値については、90%水質値（年間の日間平均値の全データを、その値の小さいものから順に並べた際の $0.9 \times n$ 番目（ n は日間平均値のデータ数）のデータ値（ $0.9 \times n$ が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。))とする。
6. 大腸菌数に用いる単位はCFU（コロニー形成単位 (Colony Forming Unit) /100mLとし、大腸菌を培地で培養し、発育したコロニー数を数えることで算出する。

イ 東京湾のみ

単位: mg/L

項目 類型	全窒素	全燐	該当水域 [環境基準点]
II	0.3 以下	0.03 以下	東京湾 (ホ) [本市内なし]
III	0.6 以下	0.05 以下	東京湾 (ニ) [本市内なし]
IV	1 以下	0.09 以下	東京湾 (ハ) [夏島沖]

備考

1. 基準値は、年間平均値とする。
2. 全窒素及び全燐は、上層の年間平均値により評価する。
3. 海域における全窒素及び全燐の環境基準の達成状況の評価は、当該水域の環境基準点において、上層の年間平均値が当該水域に当てはめられた類型の環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。
4. 複数の環境基準点を持つ水域については、当該水域内の各環境基準点における上層の年間平均値を、当該水域内のすべての基準点について平均した値が環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

ウ 東京湾のみ

単位: mg/L

項目 類型	全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)	該当水域 [環境基準点]
生物A	0.02 以下	0.001 以下	0.01 以下	東京湾全域 (特別域を除く) [夏島沖]
生物特A	0.01 以下	0.0007 以下	0.006 以下	東京湾 (二) [大津湾]

備考

1. 全亜鉛、ノニルフェノール及びLASは、年間平均値により評価する。
2. 環境基準点が複数存在する水域においては、すべての環境基準点で環境基準値以下の場合に、環境基準を達成していると評価する。

3. 公共用水域（河川・海域）の水質状況

(1) 公共用水域（河川）

鷹取川及び平作川は昭和 47 年から、松越川は昭和 55 年から調査を開始した。

① 健康項目

調査を行った 3 河川すべてで環境基準を達成した。

② 生活環境項目（BOD）

ア 鷹取川

平成 13 年 10 月に類型指定がE類型からB類型に変更されて以降、環境基準を達成している。

イ 平作川

平成 13 年 10 月に類型指定がE類型からB類型に変更されて以降、平成 26 年度を除き環境基準を達成している。

ウ 松越川

平成 25 年 7 月に類型指定がE類型からC類型に変更されて以降、環境基準を達成している。

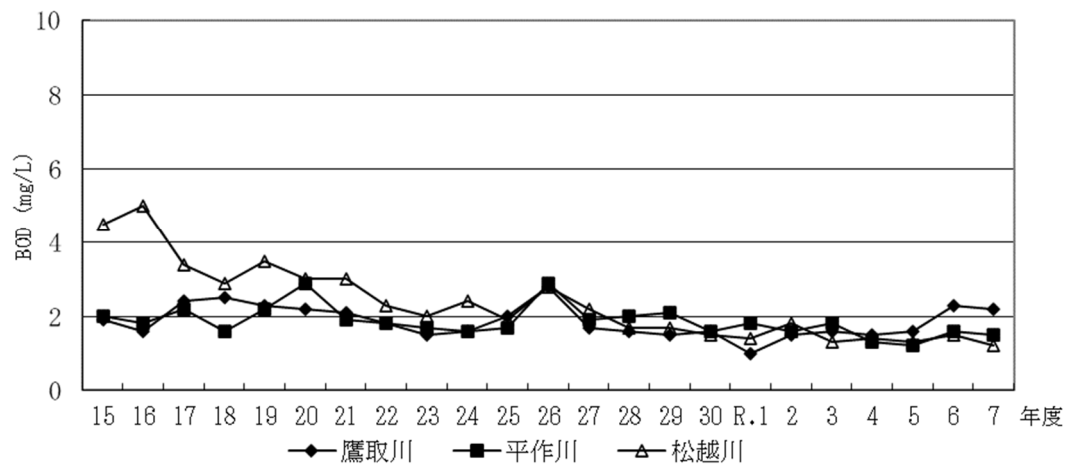
BOD環境基準達成状況

単位: mg/L

水域名	調査地点	類型	環境基準	75%値 水質値	年平均 値	日間平均 最小値	日間平均 最大値	達成 状況
鷹取川	追浜橋	B	3 以下	1.8	2.2	0.8	9.5	○
平作川	夫婦橋	B	3 以下	1.9	1.5	0.5	4.0	○
松越川	竹川合流後	C	5 以下	1.3	1.2	0.8	1.9	○

注) 環境基準の達成状況は、75%水質値により評価する。

BOD年間平均値の経年変化



③ 全亜鉛、ノニルフェノール、L A S（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）調査を行った3河川すべてで環境基準を達成した。

全亜鉛、ノニルフェノール及びL A S環境基準達成状況

単位:mg/L

水域名	調査地点	類型	全亜鉛			ノニルフェノール		
			年間 平均値	環境基準	達成 状況	年間 平均値	環境基準	達成 状況
鷹取川	追浜橋	生物B	0.008	0.03 以下	○	不検出	0.002 以下	○
平作川	夫婦橋	生物B	0.007	0.03 以下	○	不検出	0.002 以下	○
松越川	竹川合流後	生物B	0.012	0.03 以下	○	不検出	0.002 以下	○

水域名	調査地点	類型	L A S			概 況
			年間 平均値	環境基準	達成 状況	
鷹取川	追浜橋	生物B	0.0013	0.05 以下	○	
平作川	夫婦橋	生物B	0.0007	0.05 以下	○	
松越川	竹川合流後	生物B	0.0094	0.05 以下	○	年間平均値は近年、横ばいで推移している。

注) 環境基準の達成状況は、年間平均値により評価する。

(2) 公共用水域（海域）

東京湾の夏島沖、大津湾、浦賀港内及び久里浜港内は昭和 46 年から、相模湾の小田和湾は昭和 55 年から調査を開始した。

① 健康項目

調査を行った 5 海域すべてで環境基準を達成した。

② 生活環境項目（COD）

ア 夏島沖

昭和 46 年度から環境基準を達成している。

イ 大津湾

昭和 51 年度から環境基準を達成している。

ウ 浦賀港内

昭和 51 年度から環境基準を達成している。

エ 久里浜港内

昭和 50 年度から環境基準を達成している。

COD 環境基準達成状況

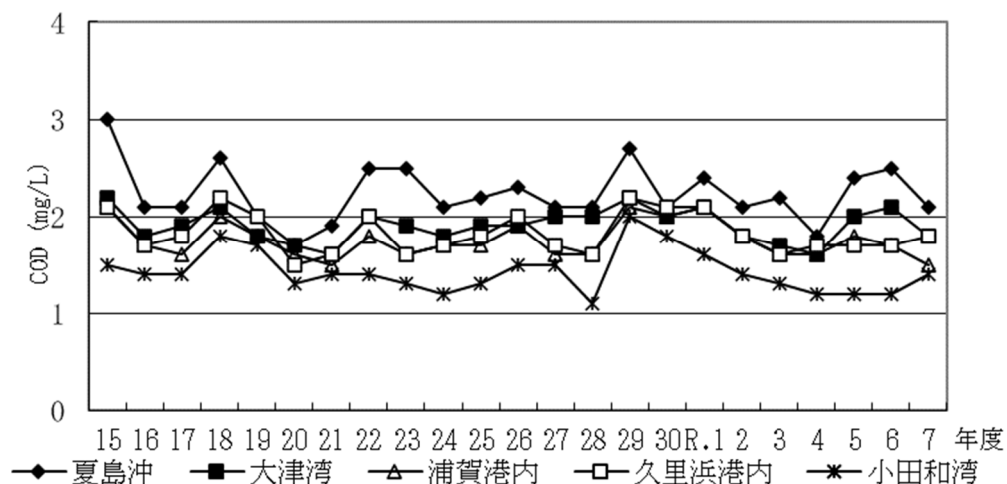
単位：mg/L

水域名	調査地点	類型	環境基準	75%値水質値	年間 平均値	日間平均 最小値	日間平均 最大値	達成 状況
東京湾(8)	夏島沖	C	8 以下	2.3	2.1	1.4	3.5	○
東京湾(13)	大津湾	B	3 以下	2.1	1.8	1.0	3.8	○
東京湾(14)	浦賀港内	B	3 以下	1.5	1.8	0.7	2.7	○
東京湾(15)	久里浜港内	B	3 以下	2.7	1.8	0.8	3.9	○
相模湾(2)	小田和湾	A	2 以下	1.6	1.4	0.7	1.9	—

注) 環境基準の達成状況は、75%水質値により評価する。

注) 小田和湾は、環境基準点になっていないため、達成状況の評価はしない。

COD 年間平均値の経年変化



③ 全窒素及び全磷

環境基準点である夏島沖において、いずれの項目も環境基準を達成した。

大津湾、浦賀港内及び久里浜港内は、環境基準点でないため評価しておらず、相模湾は類型指定されていない。

全窒素及び全磷の環境基準達成状況

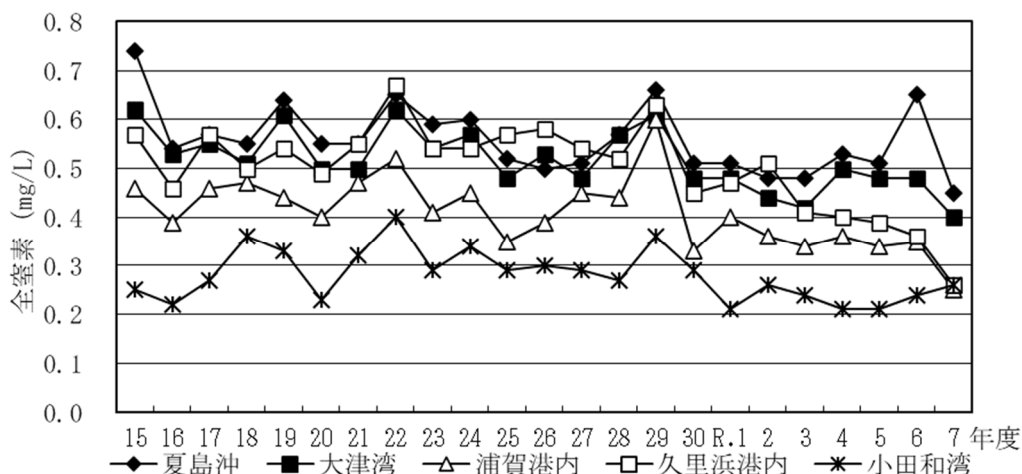
単位: mg/L

水域名	調査地点	類型	全窒素			全磷		
			環境基準	上層年間 平均値	達成 状況	環境基準	上層 年間平均	達成 状況
東京湾(ハ)	夏島沖	Ⅳ	1 以下	0.45	○	0.09 以下	0.051	○
東京湾(ニ)	大津湾	Ⅲ	0.6 以下	0.40	—	0.05 以下	0.047	—
東京湾(ホ)	浦賀港内	Ⅱ	0.3 以下	0.25	—	0.03 以下	0.031	—
東京湾(ホ)	久里浜港内	Ⅱ	0.3 以下	0.26	—	0.03 以下	0.036	—
相模湾	小田和湾	—	—	0.26	—	—	0.023	—

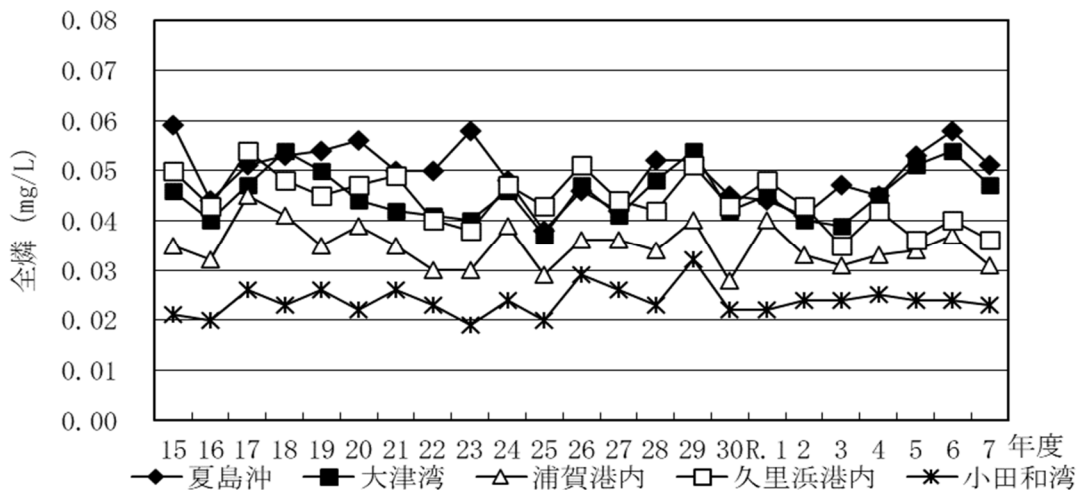
注) 環境基準の達成状況は、上層の年間平均値により評価する。

注) 大津湾、浦賀港内及び久里浜港内は、環境基準点になっていないため、達成状況の評価はしない。

全窒素年間平均値の経年変化



全磷年間平均値の経年変化



- ④ 全亜鉛、ノニルフェノール、L A S（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）
環境基準点である夏島沖及び大津湾において、いずれの項目も環境基準を達成した。
浦賀港内及び久里浜港内は、環境基準点ではないため評価しておらず、相模湾は類型指定されていない。

全亜鉛、ノニルフェノール及びL A S 環境基準達成状況

単位:mg/L

水域名	調査地点	類型	全亜鉛			ノニルフェノール		
			環境基準	年平均値	達成状況	環境基準	年平均値	達成状況
東京湾(全域) [ただし特別域を除く]	夏島沖	生物A	0.02 以下	0.005	○	0.001 以下	不検出	○
東京湾（二）	大津湾	生物特A	0.01 以下	0.006	○	0.0007 以下	不検出	○
東京湾(全域) [ただし特別域を除く]	浦賀港内	生物A	0.02以下	0.006	—	0.001以下	不検出	—
	久里浜港内	生物A	0.02以下	0.005	—	0.001以下	不検出	—
相模湾	小田和湾	—	—	0.004	—	—	不検出	—

水域名	調査地点	類型	L A S			概 況
			環境基準	年平均値	達成状況	
東京湾(全域) [ただし特別域を除く]	夏島沖	生物A	0.01 以下	不検出	○	年間平均値は近年、横ばいで推移している。
東京湾（二）	大津湾	生物特A	0.006 以下	不検出	○	
東京湾（全域） [ただし特別域を除く]	浦賀港内	生物A	0.01以下	不検出	—	
	久里浜港内	生物A	0.01以下	不検出	—	
相模湾	小田和湾	—	—	0.0007	—	

注）環境基準の達成状況は、年間平均値により評価する。

※夏島沖は東京湾（海域生物A）の環境基準点であるが複数の環境基準点が存在するため、評価は全環境基準点が環境基準に適合している場合達成していると評価するが、ここでは夏島沖の結果のみで評価している。

(3) 調査結果一覧

	水 域 名	鷹 取 川				平 作 川				松 越 川			
測定項目	測定地点名（類型）	追浜橋（B/生物B）				夫婦橋（B/生物B）				竹川合流後（C/生物B）			
	測 定 値（単位）	平均値	最小値	最大値	m/n	平均値	最小値	最大値	m/n	平均値	最小値	最大値	m/n
観測項目	水温（℃）	19.1	9.6	29.9	12	19.7	10.3	30.2	12	19.9	9.9	31.6	12
	透明度（度）	90.9	42.8	>100	12	88.8	45.8	>100	12	71.6	29.3	94.5	12
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）（—）	8.1	7.8	8.5	0/12	8.0	7.7	8.4	0/12	8.2	7.9	8.6	2/12
	生物化学的酸素要求量（BOD）（mg/L）	2.2	0.8	9.5	1/12	1.5	不検出	4.0	1/12	1.2	0.8	1.9	0/12
	化学的酸素要求量（COD）（mg/L）	3.4	2.1	8.0	12	3.2	1.6	5.3	12	5.6	4.1	7.6	12
	浮遊物質（SS）（mg/L）	4	1	8	0/12	3	1	8	0/12	9	3	18	0/12
	溶存酸素量（DO）（mg/L）	8.1	5.3	14.9	0/12	7.5	5.3	8.8	0/12	9.0	7.1	10.9	0/12
	大腸菌数（CFU/100mL）	190	1	800	0/12	920	15	3200	4/12	1300	240	6600	12
	n-ヘキサン抽出物質（mg/L）	不検出	不検出	不検出	2	不検出	不検出	不検出	2	不検出	不検出	不検出	2
	全窒素（mg/L）	0.89	0.66	1.2	12	0.80	0.45	1.8	12	3.0	1.8	4.3	12
	全リン（mg/L）	0.11	0.071	0.21	12	0.087	0.051	0.14	12	0.33	0.17	0.53	12
	全亜鉛（mg/L）	0.008	0.007	0.009	0/2	0.007	0.004	0.010	0/2	0.012	0.009	0.014	0/2
	ノニルフェノール（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/2	不検出	不検出	不検出	0/2	不検出	不検出	不検出	0/2
	直鎖7メチルベンゼンカルボン酸及びその塩（mg/L）	0.0013	不検出	0.0020	0/2	0.0006	不検出	0.0006	0/2	0.009	0.0017	0.017	0/2
健康項目	カドミウム（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	全シアン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	鉛（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	六価クロム（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	砒素（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	総水銀（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	アルキル水銀（mg/L）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	PCB（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	ジクロロメタン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	四塩化炭素（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,2-ジクロロエタン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,1-ジクロロエチレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	シス-1,2-ジクロロエチレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,1,1-トリクロロエタン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,1,2-トリクロロエタン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	トリクロロエチレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	テトラクロロエチレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,3-ジクロロプロペン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	チウラム（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	シマジン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	テオベンカルブ（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	ベンゼン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	セレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
特殊項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素（mg/L）	0.42	不検出	1.1	0/12	0.49	不検出	1.2	0/12	2.0	0.77	3.6	0/12
	1,4-ジオキサン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	フェノール類（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	銅（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	溶解性鉄（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	溶解性マンガン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	0.03	0.03	0.03	1
	クロム（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	EPN（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
その他	ニッケル（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	アンモニア性窒素（mg/L）	0.10	不検出	0.23	12	0.08	不検出	0.16	12	0.10	不検出	0.26	12
	磷酸態磷（mg/L）	0.068	0.023	0.11	12	0.060	0.008	0.10	12	0.29	0.13	0.53	12
	陰イオン界面活性剤（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1

- (注) 1. 「平均値」は、日間平均値の年間平均値。
2. 「最小値」、「最大値」は、日間平均値の最小値及び最大値。
3. 「m/n」は、基準値を超えた調査日数/年間の調査日数。
ただし、環境基準の設定されていない項目については、年間の調査日数のみ記入。
4. 「不検出」とは、測定結果が測定計画に定められた報告下限値を下回ることをいう。
5. アルキル水銀については、総水銀が検出されたときのみ測定する。

測定項目	水域名	東京湾				東京湾				東京湾			
	測定地点名（類型）	夏島沖（C／Ⅳ／生A）				大津湾（B／Ⅲ／生特A）				浦賀港内（B／Ⅱ／生A）			
	測定値（単位）	平均値	最小値	最大値	m/n	平均値	最小値	最大値	m/n	平均値	最小値	最大値	m/n
生活環境項目	水温（℃）	17.7	10.0	26.2	12	17.6	11.1	24.8	12	18.4	11.7	26.3	12
	透明度（m）	5.0	1.8	8.5	12	5.5	1.8	9.0	12	6.7	3.0	9.0	12
	水素イオン濃度（pH）（—）	8.1	7.9	8.3	0/12	8.1	8.0	8.5	1/12	8.1	8.0	8.4	1/12
	化学的酸素要求量（COD）（mg/L）	2.1	1.4	3.5	0/12	1.8	1.0	3.8	1/12	1.5	0.7	2.7	0/12
	溶存酸素量（DO）（mg/L）	8.7	6.7	11.4	0/12	8.9	6.9	13.7	0/12	9.0	7.2	12.3	0/12
	大腸菌数（CFU/100mL）	3	不検出	9	12	3	不検出	15	12	2	不検出	9	12
	n-ヘキサン抽出物質（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	全窒素（上層）（mg/L）	0.45	0.19	0.92	0/12	0.40	0.17	0.75	12	0.25	0.09	0.39	12
	全燐（上層）（mg/L）	0.051	0.027	0.13	1/12	0.047	0.027	0.091	12	0.031	0.021	0.053	12
	全亜鉛（mg/L）	0.005	0.005	0.005	0/1	0.006	0.006	0.006	0/1	0.006	0.006	0.006	1
健康項目	ノニルフェノール（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	1
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	1
	カドミウム（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	全シアン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	鉛（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	六価クロム（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	砒素（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	総水銀（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	アルキル水銀（mg/L）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	P C B（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
健康項目	ジクロロメタン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	四塩化炭素（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,2-ジクロロエタン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,1-ジクロロエチレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	シス-1,2-ジクロロエチレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,1,1-トリクロロエタン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,1,2-トリクロロエタン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	トリクロロエチレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	テトラクロロエチレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,3-ジクロロプロペン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
特殊項目	チウラム（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	シマジン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	チオベンカルブ（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	ベンゼン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	セレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素（mg/L）	0.16	不検出	0.23	0/12	0.15	不検出	0.22	0/12	0.12	不検出	0.21	0/12
	1,4-ジオキサン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	フェノール類（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	銅（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	溶解性鉄（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
その他項目	溶解性マンガン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	E P N（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	ニッケル（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	アンモニア性窒素（mg/L）	0.06	不検出	0.09	12	0.06	不検出	0.08	12	0.06	不検出	0.09	12
他項目	磷酸態燐（mg/L）	0.025	0.006	0.057	12	0.024	0.010	0.053	12	0.018	0.007	0.043	12
	陰イオン界面活性剤（mg/L）	0.03	0.03	0.03	1	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	塩分（‰）	32.21	31.39	32.83	4	32.47	30.67	33.44	4	33.33	32.37	34.36	4
	クロロフィルa（μg/L）	28.7	1.5	100	4	20.6	1.1	69	4	7.1	0.5	25	4

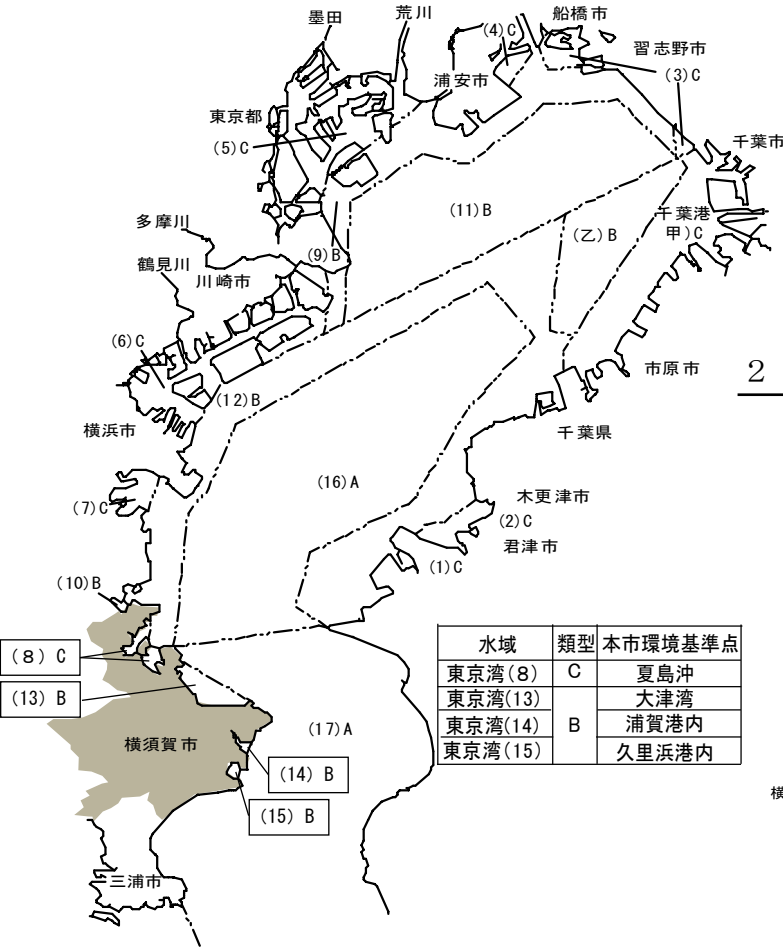
- （注）1. 「平均値」は、日間平均値の年間平均値。
2. 「最小値」、「最大値」は、日間平均値の最小値及び最大値。
3. 「m/n」は、基準値を超えた調査日数/年間の調査日数。
ただし、環境基準の達成状況を評価しない項目については、年間の調査日数のみ記入。
4. 「不検出」とは、測定結果が測定計画に定められた報告下限値を下回ることをいう。
5. アルキル水銀については、総水銀が検出されたときのみ測定する。

測定項目	水域名	東京湾				相模湾			
	測定地点名（類型）	久里浜港内（B／II／生A）				小田和湾（A／—／—）			
	測定値（単位）	平均値	最小値	最大値	m/n	平均値	最小値	最大値	m/n
生活環境項目	水温（℃）	18.5	11.4	26.7	12	20.0	14.2	27.2	12
	透明度（m）	4.4	3.0	7.5	12	6.4	2.7	13.0	12
	水素イオン濃度（pH）（—）	8.1	8.0	8.3	0/12	8.2	8.1	8.4	1/12
	化学的酸素要求量（COD）（mg/L）	1.8	0.8	3.9	1/12	1.4	0.7	1.9	0/12
	溶存酸素量（DO）（mg/L）	8.6	7.3	11.0	0/12	8.2	6.9	9.8	3/12
	大腸菌数（CFU/100mL）	130	不検出	1500	12	1	不検出	2	12
	n-ヘキサン抽出物質（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	全窒素（上層）（mg/L）	0.26	0.10	0.35	12	0.26	0.11	0.45	12
	全磷（上層）（mg/L）	0.036	0.023	0.054	12	0.023	0.017	0.031	12
	全亜鉛（mg/L）	0.005	0.005	0.005	1	0.004	0.004	0.004	1
健康項目	ノニルフェノール（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	0.0007	0.0007	0.0007	1
	カドミウム（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	全シアン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	鉛（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	六価クロム（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	砒素（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	総水銀（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	アルキル水銀（mg/L）	—	—	—	—	—	—	—	—
	P C B（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	ジクロロメタン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	四塩化炭素（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,2-ジクロロエタン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,1-ジクロロエチレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	シス-1,2-ジクロロエチレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,1,1-トリクロロエタン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,1,2-トリクロロエタン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	トリクロロエチレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	テトラクロロエチレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	1,3-ジクロロプロペン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	チウラム（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	シマジン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	チオベンカルブ（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	ベンゼン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	セレン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	不検出	不検出	不検出	0/1
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素（mg/L）	0.12	不検出	0.19	0/12	0.11	不検出	0.14	0/12
	1,4-ジオキサン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	0/1	—	—	—	—
特殊項目	フェノール類（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	銅（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	溶解性鉄（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	溶解性マンガン（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	E P N（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
その他項目	ニッケル（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	不検出	不検出	不検出	1
	アンモニア性窒素（mg/L）	0.06	不検出	0.08	12	0.05	不検出	0.07	12
	磷酸態磷（mg/L）	0.020	0.009	0.042	12	0.012	0.005	0.019	12
	陰イオン界面活性剤（mg/L）	不検出	不検出	不検出	1	0.04	0.04	0.04	1
	塩分（‰）	33.15	32.53	34.21	4	33.86	33.26	34.64	4
	クロロフィルa（μg/L）	7.2	不検出	21	4	2.8	不検出	4.6	4

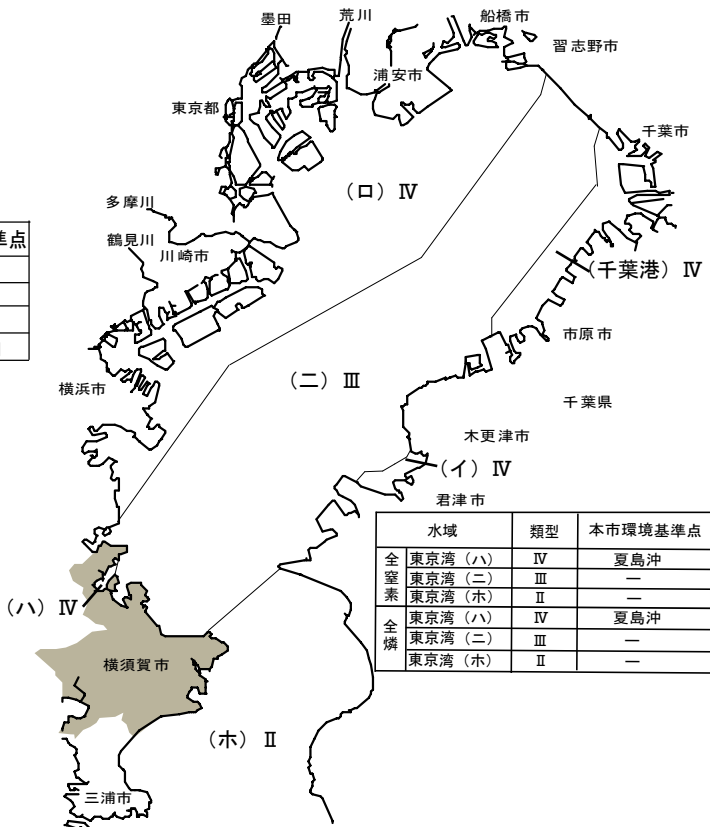
- (注) 1. 「平均値」は、日間平均値の年間平均値。
2. 「最小値」、「最大値」は、日間平均値の最小値及び最大値。
3. 「m/n」は、基準値を超えた調査日数/年間の調査日数。
ただし、環境基準の達成状況を評価しない項目については、年間の調査日数のみ記入。
4. 「不検出」とは、測定結果が測定計画に定められた報告下限値を下回ることをいう。
5. アルキル水銀については、総水銀が検出されたときのみ測定する。

＜参考＞水質汚濁に係る環境基準の類型指定状況（東京湾）

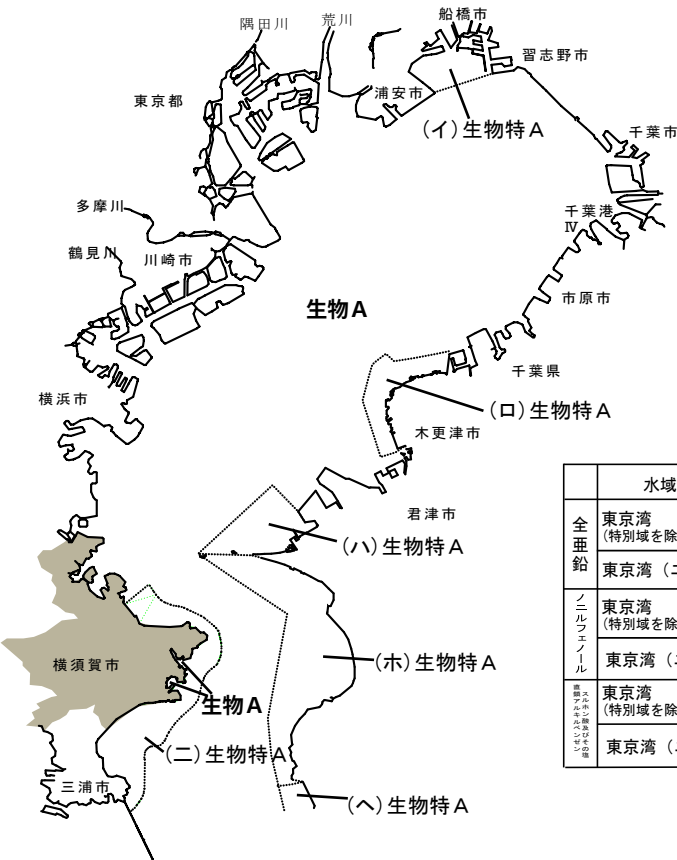
1 CODにかかる指定水域



2 全窒素・全燐にかかる指定水域



3 水生生物にかかる指定水域



Ⅱ 地下水の常時監視調査結果

1. 地下水調査地点

ア 定点調査

一定の代表的な地点において長期的な観点から水質の経年変化を調べる調査で、1地点で調査を実施した。

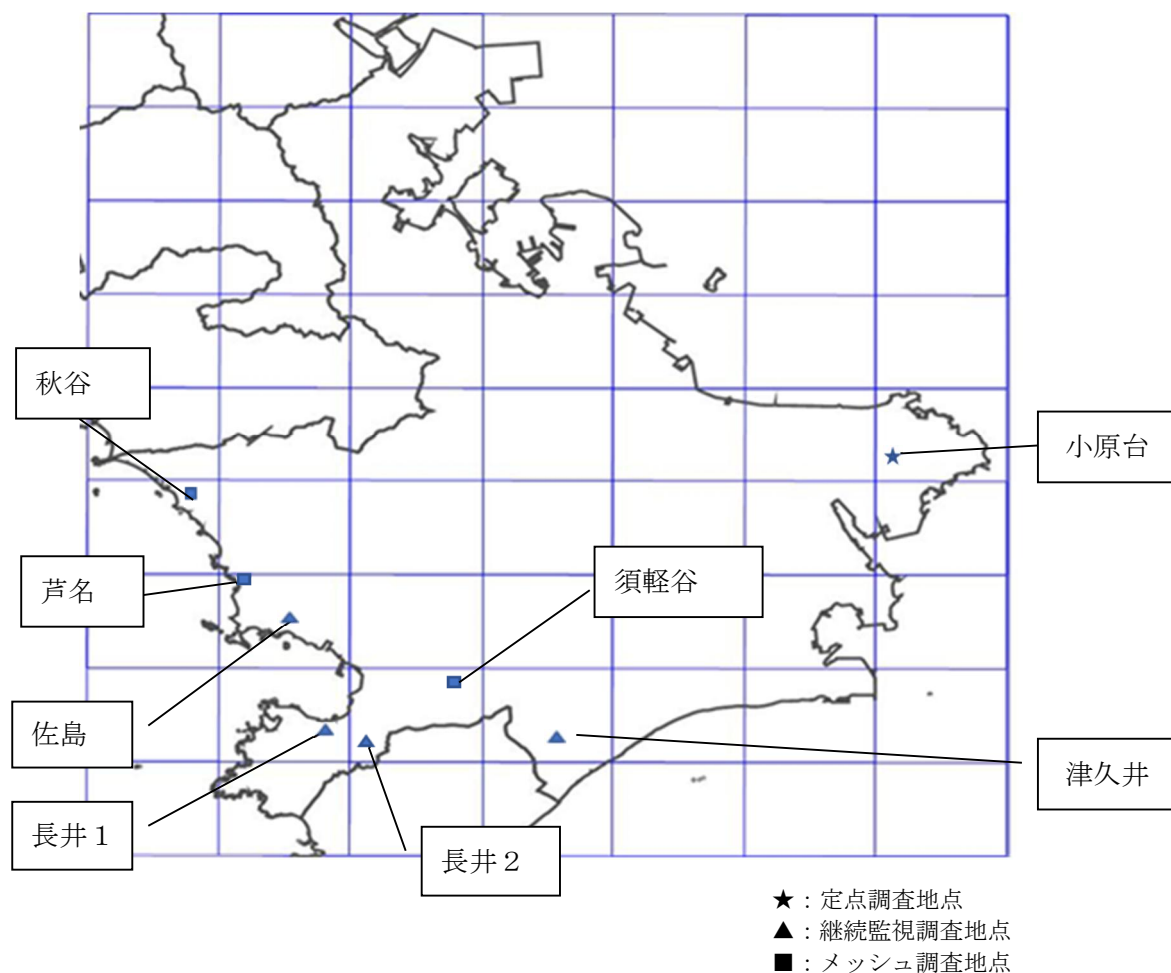
イ メッシュ調査

市内の全体的な地下水の汚染状況を把握するための調査で、市内を4kmメッシュに分割した上で、3地点を選定し調査を実施した。

ウ 継続監視調査

過去のメッシュ調査において、汚染が判明した地点を継続して監視する調査で、「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」について4地点で調査を実施した。

地下水質調査地点図



2. 調査項目及び環境基準等

(1) 環境基準項目

単位:mg/L

項 目	環境基準	項 目	環境基準	項 目	環境基準
カドミウム	0.003 以下	クロロエチレン	0.002 以下	シマジン	0.003 以下
全シアン	検出されないこと。	1,2-ジクロロエタン	0.004 以下	チオベンカルブ	0.02 以下
鉛	0.01 以下	1,1-ジクロロエチレン	0.1 以下	ベンゼン	0.01 以下
六価クロム	0.02 以下	1,2-ジクロロエチレン	0.04 以下	セレン	0.01 以下
砒素	0.01 以下	1,1,1-トリクロロエタン	1 以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 以下
総水銀	0.0005 以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 以下	ふっ素	0.8 以下
アルキル水銀	検出されないこと。	トリクロロエチレン	0.01 以下	ほう素	1 以下
PCB	検出されないこと。	テトラクロロエチレン	0.01 以下	1,4-ジオキサン	0.05 以下
ジクロロメタン	0.02 以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 以下		
四塩化炭素	0.002 以下	チウラム	0.006 以下		

備考 1. 「検出されないこと。」とは、規定の方法により測定した値が、定量限界を下回ることをいう。
2. アルキル水銀は総水銀が検出された時のみ測定する。

(2) 一般項目

項目	評価基準
pH (-)	5.8 以上 8.6 以下
電気伝導率(mS/m)	—
(備考) pHの評価基準は、水道法第4条に基づく水質基準による。	

備考 1. 調査地点における測定値が評価基準値以内の場合に評価基準を達成していると評価する。

3. 地下水の水質状況

概況調査（定点調査及びメッシュ調査）では、調査を行った4地点すべてで環境基準及び評価基準を達成した。

継続監視調査では、「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」の調査を行った4地点のうち3地点で環境基準を達成しなかったが、1地点で環境基準を達成し、すべての地点で評価基準を達成した。

(1) 概況調査結果

調査項目	基準超過地点数 / 全地点数	
	定点調査	メッシュ調査
環境基準項目 (28)	0 / 1	0 / 3
評価基準項目 (pHのみ)	0 / 1	0 / 3

(2) 継続監視調査結果

調査項目	基準超過地点数 / 全地点数
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	3 / 4
評価基準項目 (pHのみ)	0 / 4

(3) 調査結果一覧

調査区分			定点	メッシュ	メッシュ	メッシュ	継続	継続	継続	継続
地 点			小原台	芦名	秋谷	須軽谷	長井1	長井2	津久井	佐島
採水月日			10月3日	10月3日	10月3日	10月3日	10月6日	10月6日	10月6日	10月6日
環境基準項目	カドミウム	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	—
	全シアン	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	—	—	—	—
	鉛	(mg/L)	0.005	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	—
	六価クロム	(mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	—	—	—
	砒素	(mg/L)	<0.002	0.005	0.005	<0.002	—	—	—	—
	総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	—
	アルキル水銀	(mg/L)	—	—	—	—	—	—	—	—
	P C B	(mg/L)	不検出	不検出	不検出	不検出	—	—	—	—
	ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—
	四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	—
	クロロエチレン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	—
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	—
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—
	1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	—
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	—
	トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	—
	テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	—
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	—
	チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	—
	シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	—
	チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—
	ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	—
	セレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	1.4	0.77	0.60	1.2	24	12	40	0.96
	ふっ素	(mg/L)	<0.08	0.20	0.28	<0.08	—	—	—	—
	ほう素	(mg/L)	0.02	0.09	0.09	0.02	—	—	—	—
	1,4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	—	—	—
一般項目	水温	(℃)	23.0	20.7	20.5	21.2	21.4	22.0	20.3	20.1
	外観	(—)	無色	微淡黄色	微淡黄色	無色	微淡黄色	微淡黄色	無色	無色
	臭気	(—)	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭
	pH	(—)	7.3	7.7	7.9	6.7	6.9	7.8	6.8	7.9
	電気伝導率	(mS/m)	42	44	38	27	48	36	75	55

※「不検出」とは、神奈川県の水質測定計画に定める報告下限値を下回ることを言う。

※アルキル水銀は、総水銀が検出された場合にのみ測定する。

 : 環境基準又は評価基準超過